



青木の佐賀をゆく!!

令和7年(2025年)の主な活動紹介



※「議員と語る会」

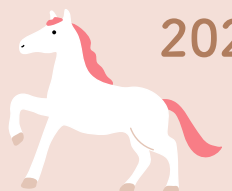
地元校区主催の議員政策発表にて、国防の重要性和フル規格新幹線整備の必要性を述べました。



※「県政報告会」

例年通り、報告会を開催しました。佐賀駐屯地、外国資本による土地取得問題、外国人の増加と組織化への懸念等について話しました。

HAPPY
NEW
YEAR
2026



※「駐屯地記念式典」

待ちに待った佐賀駐屯地の開設記念式典に副委員長として参列しました。国防の最前線を担われることに感謝し、今後も隊員の方々の安全を願います。



※「政策発表会優勝」

11期インターンの佐賀大学生二人が政策発表会において、青木事務所7回目の連続優勝を果たしました。



※「戦没者追悼式」

大東亜戦争終結から80年、追悼式に参列しました。祖国を守るために犠牲になられた英霊に感謝し御霊の安寧を祈り続けます。



※「草刈りお手伝い」

例年参加している中山間地域の草刈りへ行きました。県からの草刈りへの補助についても提案していきます。



※「フル規格新幹線シンポ」

佐賀県の栄枯盛衰はフル規格新幹線整備にありと改めて学びました。未来の子供たちのためにフル規格で整備すべきです。

青木かずのり事務所

〒840-0842 佐賀市多布施1丁目11-12 1F
TEL0952-97-9323 FAX0952-97-9324

オフィシャルホームページ
<https://aokikazunori.com/>



議会での登壇映像を
ご覧いただけます



Q1 視覚スクリーニング

小さい子供の検査は見えづらさを正確に訴えること自体が難しい。県内での屈折検査機器導入の経緯はどうか。
男女参画・こども局長 弱視を見逃してしまう可能性があることが課題であったため、令和4年

Q2 軍歴証明

軍歴や兵籍簿は戦没者の貴重な資料であり、先祖の息吹を感じる事ができる大事な公文書と言える。我が国を守っていただいた幾多の英霊の勇敢な記録を次の世代へ受け継ぎ大切に保管していくことが平和に貢献すると信じる。申請がで

度から5年度にかけて全ての市町が屈折検査機器を導入した。



青木かずのり

県議会議員/2期/自由民主党
佐賀空港・有明海問題対策等
特別委員会副委員長

Q3 佐賀駐屯地

健康福祉部長 祖国のために戦場に赴いた人々の貴重な記録であり、県庁内の書庫に保管しており、年一回害虫防除を行っている。軍歴資料が損なわれることのないよう、しっかりと保管し適切に発行していく。

Q4 外国人政策

知事 災害対応や広域医療搬送、他県への支援応援などに活かしていくことを検討していきたい。

長きに亘り、佐賀駐屯地は我が国の防衛の重要な役割を担うと共に隊員の方々の日々の安全を心から願う。今後、佐賀駐屯地とどう向き合うか。

環境や治安の悪化の課題が増加している。国が進める、滞在外国人の総量規制、在留手続き及び永住許可申請や在留資格の変更にかかる手数料の値上げ、帰化要件や在留審査及び入国管理の厳格化、そして外国資本による土地取得の規制や実態把握などの政策は実現するべきだ。何より、我が国の外国人政策に係る法律は時代に即していない。また、自治体が外国人政策に関わる事業を提案すると、その都度、大きな反対や混乱を招いている。よって、行き過ぎた外国人政策は進めるべきではない。